2019 6/9

（第3種郵便物認可）
東京新聞

被ばくと甲状腺がん 関連「否定」

基は
暫定数値

実は
報告書案

結論は まだ

分析結果60点

福島県部会、断定調の報道に苦言

福島第一原発事故時に十八歳以下だった福島県民に県が行う甲状腺がん検査を巡って三日、県の専門部会は被ばくとの関連を分析した報告書案を公表した。公表前に本紙を含めマスコミは「被ばくの影響を否定する報告書がまとまった」と断定調で報道した。が、中身は少し違っていた。「関連については、まだ確たる結論を出せない」という趣旨の書きぶりが目立ったのだ。部会員も現時点の分析結果は「六十点」。中途半端な分析で報告書をまとめようとするのはなぜか。（榊原崇仁）

福島県による甲状腺がん検査 県民健康調査の一環として福島原発事故当時18歳以下の県民約40万人を対象に実施。2011～13年度の1巡目検査は約30万人が受診し、がんや疑いが115人だった。専門部会は15年にまとめた報告書に「被ばく線量が少なく、放射線の影響は考えにくい」などと記した。14、15年度の2巡目は約27万人が受け、がんや疑いは71人。3巡目は既に終わり、18年度から4巡目に入った。

三日の部会は報道批判から始まった。部会長で国際医療福祉大の鈴木元（げん）教授（放射線疫学）が「新聞の方でフライング的な報道があった。どういう議論を経たか、プロセスが伝わっていない。結果だけが先行する」と切り出したのだ。

直前の報道では「がんと被ばくの関連性はないとする報告を部会がまとめた」と伝えられ、「原発事故がんと関連否定」と断定調の見出しが付いた。

ただ三日に出た報告書はまだ「案」だった。中を見ると「暫定的な被ばく線量を用いた解析」にとどまるとある。「関連は認められない」という記述の前には「現時点において」と断りがあった。

現部会員となった二〇一七年十一月以降、分析上の限界を複数の部会員が繰り返し指摘していた。今年二月の前回会合後の会見で、鈴木氏は「新聞記者は明確な結論をほしがるが、まだラフな解析」とくぎを刺した。断定調の結論報道への苦言はもっともだ。

分析上の限界に触れる前に、部会が何をしようとしていたかおさらいする。

扱ったのは一四年度から二年間で見つかった甲状腺がんの状況。それ以前の分は報告書が作成済み。部会は「甲状腺の被ばく線量が多い集団ほどがんが多く見つかっていれば、被ばくでがんが増えたと判断できる」と考え、作業を始めた。

祖父江友孝氏

線量のデータとして使ったのは国連放射線影響科学委員会（アンスケア）が一三年報告で示した市町村別の値だ。「国際的に認められた線量推計はこれだけ」（鈴木氏）。がんの方は県が行う検査の受診者数や発見数を用いた。

各市町村を「二〇ミリシーベルト未満」「二〇～二五ミリシーベルト」「二五～三〇ミリシーベルト」「三〇ミリシーベルト以上」などとグループ分けし、それぞれ甲状腺がんの発見率を導いた。線量が中程度のグループで率が高い結果などが得られ、報告書案では「線量の増加に応じて発見率は増えず」「現時点において関連は認められない」と記された。

ただ先に触れたように部会では分析上の限界が指摘されていた。一番の問題はアンスケアの線量推計だ。要約するとこんな感じだ。

線量は個人差が大きい。同じ市町村の住民でも避難の時期や経路、屋外にいた時間は違う。飲食の中身はバラバラだ。個々人の被ばくの程度を測るべきだが、データがほぼないため、アンスケアはおおまかに地域別の線量を見立てた。

しかし、これに基づいて線量別のグループをつくっても、個人差を考慮したグループにならない。がんの人、そうでない人がどの線量別グループに入るか、確かなことが言えないのだ。

今月三日の会合後、「こちら特報部」は会見で分析結果の正確さを自己採点してもらった。鈴木氏は答えず、大阪大の祖父江友孝教授（疫学）は「まだ不十分。六十点」、国立がん研究センターの片野田耕太氏は「現時点で判断した限り、五合目」と述べた。

富士山の
山鉄道」の
欲を見せて

て揚げたアドバルーンの側面が強かった。これが伝わり、驚いたのが地元だ。

長崎知事が公約実現のために新設した知事政策補佐官室の担当者は、「（夏季に渋滞が慢性

ニュースの追跡

ち自治体である山梨県ではなく、国が検討会を設けるべきではないか」と話している。

市場だより

8日
☆印は消費税含む
（単位・円）

☆野菜
（大田東一、農水省調べ、キロ）

			高値	安値
大根	青森	⑩	1080	972
ニンジン	千葉	⑩	1620	1242
ゴボウ	熊本	④	1296	1037
白菜	長野	⑮	1296	648
キャベツ	千葉	⑩	1296	756
ホウレン草	群馬	(0.2)	108	65
ネギ	千葉	⑤	2484	1404
セロリ	千葉	⑩	2484	2160
レタス	長野	⑩	1944	1080
キュウリ	埼玉	⑤	1620	1404
カボチャ	鹿児島		—	—
ナス	高知		—	—
トマト	熊本	④	864	540
ピーマン	茨城	(0.15)	70	54
トウモロコシ	山梨	⑤	2160	2052
サヤインゲン	千葉		—	—
[illegible]	[illegible]	(0.3)	356	324
小松菜	埼玉	(0.5)	194	86
三つ葉	千葉	①	540	76
ニラ	栃木	(0.1)	27	22
アスパラ	長野	(0.1)	162	151
ブロッコリ	長野	④	2376	2160
ミニトマト	愛知	(0.2)	157	65
空豆	宮城	④	3456	2808
ニンニク	青森	①	2160	1080
葉ショウガ	千葉		—	—
ナメコ	山形	(0.1)	76	22
シメジ	長野	(0.1)	65	27
マイタケ	新潟	(0.1)	119	59

☆果実　（大田東一調べ、キロ）

			高値	安値
ハウスミカン	佐賀	①	1620	—
リンゴジョナゴールド	青森	⑩	4860	—
リンゴ富士	青森	⑩	5940	—
リンゴ王林	青森		—	—
ビワ	千葉	①	2160	—
同	香川	(0.25)	356	—
桃	山梨	①	3240	—
同	福岡		—	—
スモモ大石早生	山梨		—	[illegible]
メロンアールス	千葉	①	864	432
同	静岡	①	5400	918
メロンプリンス	茨城		—	—
メロンタカミ	千葉	⑤	216000	3780
メロンクインシー	茨城		—	—
メロンアンデス	茨城		—	—
スイカ大玉	熊本	⑮	4104	—
同	千葉	⑬	4104	—
スイカ小玉	茨城	⑧	3996	—
マンゴー	宮崎	(0.4)	3024	1296
ブルーベリー	千葉	(0.1)	356	—

☆東京枝肉（芝浦食肉市場、1キロ）

休み

和牛メス	和牛去勢	交雑種メス	交雑種去勢
A5	A5	A5	A5
A4	A4	A4	A4
A3	A3	A3	A3
A2	A2	A2	A2
A1	A1	A1	A1
B5	B5	B5	B5
B4	B4	B4	B4
B3	B3	B3	B3
B2	B2	B2	B2

☆塩干物　（都庁調べ、1キロ）

			高値	安値
塩サケ（トキ）	北海道		2700	216
塩カズノコ	各地		7020	302
シラス干し	各地		1944	75
煮干し	各地		756	43
開き干しサンマ	千葉	(枚)	200	[illegible]
開き干しサバ	千葉	(枚)	270	19
開き干しアジ	各地	(枚)	194	[illegible]
メザシ	各地	(コッ)	6480	48
スケコ	各地		3240	14

◇淡水魚　（豊洲組合、1キロ）

		高値	安値
ウナギ	太	6800	67
同	並	7000	69
同	細	7200	71
コイ	群馬	1400	13
ドジョウ	上	3500	35
同	並	3000	30

☆横浜枝肉（中央食肉市場、1キロ

「管理組合役員の義
意識していますか
分譲マンション管理組合の運営で大切な
「組合の公益を重視した経営感覚」です。
大規模修繕工事の備えは十分ですか？
工事費・管理委託料を見直す・比べる・
マンション管理会社「合人社」は提案し
www.gojin.c

東京新聞　2019 6/9　（第3種郵便物認可）

こちら特報部

話題の発掘

放射性ヨウ素 国と県、十分調査せず

線量 個人差大きく

祖父江氏、片野田氏は個人線量が分からない点を問題視した。分からなくなった経緯は、本紙が今年一～三月、連載「背信の果て」で報じた。その流れをかいつまんで説明する。

原発事故で出る放射性ヨウ素は、体内に入ると甲状腺に集まり、その被ばくで甲状腺がんが生じ得る。福島県のマニュアルは将来的ながんの発症に備え、事故時には体内に入る放射性ヨウ素の程度を測り、被ばくの状況を判断する手順が記されていた。

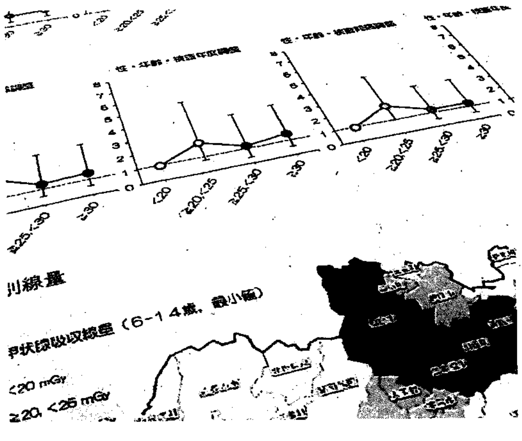
しかし、事故が起きると県の測定は省かれ、国が原発から遠い三十キロ圏外で千八十人を調べただけ。結果は一〇〇ミリシーベルト相当の基準を下回ったとされ、「線量増加前に避難完了」「避難者は健康上問題無い」と記した文書が作成された。放射性ヨウ素は事故から二、三カ月でほぼ消えて測定ができなくなるのに、国、県は十分な調査をせずに「放射線被害なし」の結論を作ってしまった。

今、線量を見立てる上でできるのは、主にアンスケアが行ったような試み。原発から出た放射性ヨウ素の拡散状況をシミュレーションし、代表的な避難経路を踏まえて「この地域の人はおおまかにこれくらいの線量」と計算することだ。

ただ、おおまかな線量の見立てで分析しても、部会の報告書案にあるように、結果は「暫定的な解析」にとどまる。がんと被ばくの関連は曖昧で、加害者の責任が追及できないという状況が生まれている。

報告書案は三日の部会を経ても「案」のまま。「関連は認められないという表現を緩めたら」などの意見が出たためだ。今後は部会長が文章を修正し、部会員の了承を取り、親会議の検討委員会で説明する。

㊤甲状腺がんと被ばくの関連について議論した専門部会のメンバー＝3日、福島市で
㊦専門部会が関連分析で使ったグラフ



責任追及 曖昧に

報告書がまとまったとしても「慎重に扱うべきだ」というのが、部会長の鈴木氏のスタンスだった。会見ではアンスケア以外でも線量推計が行われている点に言及し「将来的に分析のやり直しを」と語り、「未来永劫（えいごう）、影響が見られないと結論付けたわけではない」とも述べた。

一方、小さな子どもほど線量は高くなり得るため、放射線の影響も出やすいとみる。その年代はがんの発見数がわずかで、特別な関連分析は行わなかった。鈴木氏は「事故当時五歳以下の集団でがんが増えないか確認できるのは、最短でもその子たちが高校生になった時の結果を見てから」と述べ、まだ時間が必要との考えを示した。

数値に不透明さ

腑（ふ）に落ちない点もあった。分析に用いたデータの不透明さだ。

今回の分析では線量別にグループ分けし、がんの発見率を比較した。ところが、グループ別のがん検査の受診者数やがんの発見数は公表されず、ざっくりとした折れ線グラフで「線量が中程度のグループでがんの発見率は一番高い」などと図示しただけ。微妙な数値調整をしたと書いてあるが、その内訳も明かさない。

鈴木氏は取材に「（細かい数字を出すと）ある雑誌が解析して書き出す。それが独り歩きする」と述べた。岩波書店の月刊誌「科学」で部会の議論を検証してきた神戸大の牧野淳一郎教授（計算科学）を警戒しているようだ。

牧野氏は取材に「チェックされると困る事情があるから、データを公表しないのだろう」と非難する。

それにしても、中途半端な分析結果しか出ていないのに報告書をまとめるのはなぜなのか。牧野氏は「どんな形でも公的な文書に『がんと被ばくの関連がない』と書いておけば『関連なし』だけが独り歩きしていく。それを望む人たちの思惑が働いたように思えてならない」と考える。

デスクメモ

「丁寧な説明」。何かをごり押しする時に、だいたいセットで出てくる。「テロとの戦い」。国家が強権を振るうのを正当化してくれる。「誤解を招きかねない」。都合の悪いことを隠す時、もっともらしい理由として挙げられる。「独り歩き」もこの類いの言葉。要注意だ。（裕）

2019・6・9

Kadan　2019.6.9

東

佐佐木幸綱

マツバウンラン何時しか増
瀬の初夏の岸辺に瑠璃色の
群馬県桐生市　後
（評）マツバウンラン
新しいアメリカ原産の
だが、川原や造成地な
見かける花。

入院に山へ行く如くザック
り代わりの熊除けの鈴
東京都東大和市　渥
（評）山好きの作者
へ出かけるノリで荷物
にまとめて入院した
「熊除けの鈴」が、い

夫はちいさな私はおおきな
きちいさな私とおおきな
東京都国分寺市　田

小澤實

歪みたる部屋を見ている
横浜市港北区　山
（評）ぼくらは金魚